

開成町議会総務経済常任委員会

所管事務調査報告書

令和6年9月～令和7年2月

開成町議会議長 山本 研一 様

総務経済常任委員会委員長 武井 正広

総務経済常任委員会所管事務調査報告書

本委員会の所管事務につき、調査した結果を開成町議会会議規則第75条の規定により、次のとおり報告する。

1 調査の件名 「文命用水路補修工事に伴う町水路の影響及び対策について」

2 調査の目的

令和6年10月から約2年間、文命用水路の補修工事が予定されている。工事に伴い、農繁期を除き、3週間に1回程度通水があるものの、延べ9か月間に渡り町内の河川や水路が断水となる。そのため、町民生活にどのような影響が及ぶのか、またその対策について調査研究を行うこととした。

3 調査の経過

	委員会開会日	出席状況	調査の概要
第1回	令和6年8月21日	全員	調査項目の検討
第2回	令和6年9月20日	全員	県担当課から工事概要説明、意見交換
第3回	令和6年10月10日	全員	現地調査（通常時）
第4回	令和6年11月6日	全員	現地調査（断水時）
第5回	令和6年12月16日	全員	農業委員会との意見交換 産業振興課へのヒアリング
第6回	令和7年1月21日	4名 (欠席1名)	
第7回	令和7年2月18日	全員	調査報告案まとめ

※令和6年11月6日、酒匂川右岸土地改良区との文命用水に関する勉強会を開催
(議員全員対象)

4 調査の内容

○補修工事の概要（県担当職員からの説明）

- ・文命用水路は昭和8年より東京電力の発電用水と兼用されていたため、県の都合で断水するには東京電力に補償費を支払う必要があった。以後90年を経た今、東京電力

が老朽化対策工事を行うこととなった。工期を合わせれば、補償費を支払わないかたちで、文命用水の 800 メートルのトンネル補修工事が可能となる。

- ・トンネル補修工事の総事業費約 3 億 9 千万円には、国の交付金 50%、東京電力からの負担金 21%が含まれる。
- ・断水期間内は、生活用水として利用している町民に配慮し、3 週間に 1 回程度は通水する。

○現地での調査（通水時と断水時の比較）

- ・通水時と断水時の状況変化を確認するため、断水前の「通水時」と断水後の「断水時」のそれぞれ（各 1 回）で現地調査を実施した。
- ・夏の土用干しに伴う断水時に臭気の苦情があった水路（箇所）や、その断水時に水が流れていた箇所を中心に、計 8 か所を調査した。
- ・下水道整備済み地域では、下水道未接続の浄化槽からの排水が水路で希釈されない状況が見られた。そのような箇所では、生活に支障があるほどではないが、若干の臭気が認められた。
- ・水路底の堆砂により、大雨時には溢水が予想される箇所を確認した。

○関係機関へのヒアリング、意見交換

酒匂川右岸土地改良区との文命用水に関する勉強会

- ・酒匂川右岸土地改良区は、文命用水路の維持管理と年間を通じた町水路の取水調整を担っている組織である。
- ・文命用水路の流域 13,500 世帯のうち、7,432 世帯が開成町である。
- ・酒匂川右岸土地改良区は、通水量の管理において、特に大雨時には昼夜を問わず細心の注意を払っている。一方、主な収入源である賦課金を納める農家が減少していることから、財政状況が悪化している。

農業委員会との意見交換

- ・農繁期は通水が予定されていることから、稲作を中心とした農業への影響は少ないと考える。
- ・下水道整備区域内で下水道接続が遅れている世帯があることは町の課題として認識している。
- ・農家の数が減少し、一世帯あたりの賦課金が増えている。文命用水は農業用水としてだけでなく、防火用水や雨水処理としての機能もあることから、町からの補助金を上げることが考えられる。

○町担当課（産業振興課）へのヒアリング

- ・県、町に対する断水に伴う苦情や問い合わせは、工事に関して7件、臭気について2件、農業用水について2件の合計11件であった。
- ・苦情は10月15日の断水開始直後に偏り、それ以降は無い。

5 検討のまとめ

以上、当委員会では、「文命用水路補修工事に伴う町水路の影響及び対策について」を所管調査項目とし、町内水路の現地調査、県担当課からの工事概要説明、農業委員会との意見交換、町担当課へのヒアリング、酒匂川右岸土地改良区との勉強会・意見交換等、計7回の委員会を開催し、委員間討議を行った。

その結果は次のとおりである。

- 断水時の水の濁みや臭気から、下水道整備済み地域での下水道接続率をより高めることが環境保全対策においても重要であると認められたことから、改めて下水道接続を促進されたい。
- 近年は地球温暖化により異常な大雨の発生頻度が増加している。次年度（令和7年度）の長期断水の機会を活用し、浸水対策につながる水路の堆砂除去を図られたい。
- 文命用水路補修工事に伴う町水路の影響を調査するなかで、町民の安心、安全な生活に寄与する酒匂川右岸土地改良区の役割がますます重要になっていることを確認した。当該団体の運営・活動を維持するために、町は一層の支援を図られたい。

委員長	武井 正広
副委員長	清水 友紀
委員	星野 洋一 寺野 圭一郎 前田 せつよ

(※議長オブザーバー出席)